

富士宮市水道ビジョン(令和8年度改定版) (案) に寄せられた意見に対する市の考え方

No.	ページ	項目	寄せられた意見の概要	市の考え方	反映の有無
1	25	第4章 事業化計画 4-1 事業実施計画	更新・耐震化について、現状の数値は示されていますが、計画期間10年間でどこまで改善するのかという具体的な目標値が示されていません。市民や議会が進捗を確認できるよう、耐震適合率や更新量などの目標値を明示できないか？	水道事業を運営していく上で欠かせない、耐震規格に適合した材質を用いて更新工事を継続していくことに伴い、結果的に耐震適合率は上昇していきますが、耐用年数を経過する管は毎年発生することや、管の口径や施工する箇所によって更新工事にかかる事業費が変わることからも、安定した経営を行っていくため毎年度の事業費を計画的に策定している本計画において、耐震適合率や更新管延長等の目標値を設定することは適切ではないと考えます。	無
2	25	第4章 事業化計画 4-1 事業実施計画	クリプトスポリジウム指標菌が検出されたことがある水源について、「認可取得済み」「検討を進める」との記載がありますが、実際にいつ、どの水源から対策を実施するのかが読み取れません。対象水源ごとに、対策の優先順位および実施予定年度を明示できないか？	クリプトスポリジウム対策は水源の統廃合など、複合的な要素から検討を行う必要があります。そのため本計画で示す計画期間の10年では対策が難しいことから「検討を進める」という表記をしております。	無
3	29	第5章 投資・財政計画 5-2 投資・財政計画 ③財政シミュレーション	「料金改定検討に関する市民説明の進め方について」財政シミュレーションにおいて、現行料金水準では令和11年度に赤字へ転じる見込みと示されています。料金改定を検討する場合には、検討開始時期、市民への説明方法、料金体系の考え方(公平性や配慮措置)について、あらかじめビジョン内で基本的な考え方を示してください。	本計画は経営戦略として、事業経営の側面から策定しています。現在の料金水準では赤字に転じる見込みであることから、事業経営を継続する資金を確保するため、仮に令和11年に25%の料金改定をした場合の試算をしています。今後、具体的な料金改定を実施するにあたっては、まず最初に来年度設置を予定している審議会の中で料金体系の考え方、改定時期などを示して協議検討し、その後市民に対し理解が得られるように説明を行っていきます。	無